



かしはら

桧原の棚田

標高650メートルから700メートルの山肌に大小さまざまな棚田が重なり合っていて、県内初の国の重要文化景観に認定されました。



かみかつちよう

徳島県上勝町

町からのメッセージ

江戸時代後期に描かれた絵図とほぼ変わらない状態が今も残る「桧原の棚田」、人の営みが育んだ健やかで美しい、あかさわじゅくにほんの里「八重地集落」、後発酵の独特製法でつくられるさわやかなお茶のかおり漂う風景「神田茶の里」などの美しい景観と、おばあちゃんが主役の「葉っぱの町」上勝町は、人口約1700人の四国で一番小さな町です。



千本杉の森

「やなせ杉」の樹齢は200～300年、直径2m、樹高50mに及ぶ大木の群生している森林で、国有林保安「林木遺伝資源保存林」として守られています。



高知県 馬路村

うまじむら

村からのメッセージ

馬路村は、高知県の東部に位置し、周囲を標高1000m級の山で隔たれた人口950人ほどの小さな村ですが、杉や柚子といった地域の資源を活かした村づくりに精一杯取り組んでいます。これからも、美しく元気な村として、皆様に一度は訪れてみたい村とさせていただけるよう、努力してまいります。



曾爾高原

ススキで一面に覆われた草原で、3月中頃に毎年山焼きが行われ、春から夏にかけては一面に青い絨毯が敷かれたような爽やかな姿を見せます。



そにむら

奈良県 曾爾村

村からのメッセージ

奈良県曾爾(そに)村は、関西屈指のすすきの大海原「曾爾高原」や約300年の伝統ある「曾爾の獅子舞」など、見どころいっぱい魅力いっぱいの村です。

曾爾高原の豊富な湧き水で醸造した「曾爾高原ビール」やトマト・ほうれん草などの高原野菜で舌鼓。是非お越しくださいね。



青いレモン

瀬戸内海の柑橘栽培に適した気候を活かした「青いレモン」は昭和60年に商標登録されさわやかなレモンのイメージは、上島町のシンボリック存在になっています。



かみじまちょう

愛媛県 上島町

町からのメッセージ

上島町は、愛媛県の東北部、広島県境に位置し瀬戸内海のほぼ中央に浮かぶ離島のみで構成された町です。瀬戸内海国立公園区域に囲まれ、風光明媚な瀬戸の景勝地であり、近年は、多くのサイクリストが訪れています。

県の名勝地に指定されている白砂青松の広がる法皇ヶ原や、春には積善山に三千本を超える桜が咲きほこります。



ほてなしゅうらく

果無集落

熊野古道小辺路が通り、急斜面の田畑を耕し、自給自足で暮らす集落の姿は、まさに日本の原風景です。訪れた人を懐かしく安堵させるような、魅力を持っています。



とつかわむら

奈良県十津川村

村からのメッセージ

十津川村は、道の世界遺産と源泉かけ流し温泉のある村です。急峻な山々の緑と、その隙間から見える青空が美しい村です。

遠いけれどあたたかい、不便だけど何かがある、ぶっきらぼうだけどいい笑顔の人々が暮らす、そんな村です。いつか、十津川村の空気を、胸いっぱい味わいに、お越しください。



天空の棚田

谷々を流れる清澄な水と、高地故の激しい寒暖差が、古来より美味しいお米を育てることができる場所として、棚田の形状をそのままに、培われた農業文化と共に現代へ継承されてきました。



もとやまちょう

高知県 本山町

町からのメッセージ

本山町には大きな青空があります。
町のまんなかを吉野川が流れ自然を愛する人々が暮らしています。四季を彩る花が咲き、歴史を彩る人物が生き悠々と、蕩々と時が流れています。



和紙

紙漉きは、先人の技を引き継ぎ、現在も伝統的な手法を継承しています。漉いた和紙の野外での天日干しは周辺の景観と見事に調和し、冬の風物詩、国栖の里の原風景となっています。



よしのちょう

奈良県 吉野町

町からのメッセージ

吉野は、古代から「古事記」や「万葉集」「日本書紀」などに登場する地であり、その美しい光景が古の人たちの心をとらえ、永く愛されてきました。今も歴史の面影を残し自然に生まれた風景があり、人々の心と体を癒し、元気にしてくれる吉野でゆったりとした時間をお過ごしください。